

【報道関係者各位】



佐川美術館（所在地：滋賀県守山市）では、さがわきつづみゅーじあむ展示イベントとして「魔法の美術館Ⅲ」を開催致します。

子どもから大人まで直感的に楽しめる体感型アートの展覧会「魔法の美術館」。大人気を博した本企画が、4年ぶりに佐川美術館へ帰ってきます！

人の動きに反応して、光や影、映像が変化し、美術館に魔法のような世界が広がる体感型アートは、まるで自分と作品とが対話するような体験ができる、次世代のアート作品といえるでしょう。その時、その場でしか見られない作品の数々を、ぜひ体感してください。

当イベントは事前にWEB予約が必要です。

「事前予約制」「詳しい予約情報はHPをご覧ください」といった文言をお入れください。

展覧会実施概要

- ◆名称：さがわきつづみゅーじあむ展示イベント 魔法の美術館Ⅲ
- ◆会期：2021年12月4日[土]～2022年2月13日[日]
- ◆開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- ◆休館日：月曜日（1/10は開館）、12/30～1/3、1/11
- ◆入館料：一般¥1,000 / 高大生¥600（学生証をご提示ください）
中学生以下無料 ※ただし保護者の同伴が必要
※専門学校・専修学校は大学に準じる。
※障がい者手帳をお持ちの方（手帳をご提示ください）、付添者（1名のみ）無料。
※事前のWEB予約、同時にネット決済による入館チケット購入をお願いします。

【主催】佐川美術館（公益財団法人SGH文化スポーツ振興財団）

【後援】滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会、BBCびわ湖放送

【企画協力】ステップ・イースト

【協力】SGホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を変更する場合がございます。当館ホームページやツイッターをご覧ください。

■みどころ

光と遊ぶ超体感型ミュージアム！

「魔法の美術館Ⅲ」では参加者にあわせて作品が様々な表情をみせてくれます。ただ作品を見るだけでなく、参加者自身も作品にかかわり、人と作品とがお互いに作用する、このインタラクティブ性が大きな特徴です。気鋭のアーティストたちによる作品がめくるめく魔法の世界へと導いてくれるでしょう。五感をフルに使い、遊ぶような感覚で体験できる、新感覚アートの驚きと感動をお楽しみください。

■展示プログラム

広報
画像

1. 《色のある夢》

藤本直明

©naoaki FUJIMOTO



自分の影が七色の影として現れ、
光のショーが始まる不思議な作品。

広報
画像

2. 《つくもがみ》

坪倉輝明

©teruaki TSUBOKURA



廃墟のような世界へ踏み出すと廃材や工具、
家電などが自分の体に吸い付き、
廃棄物で作られたロボットに変身します。

3. 《Traces》

岡田憲一

©kenichi OKADA



壁面に、参加者の「跡」が映し出されます。
歩き回るとその跡が長く連なり、
人の影でできた絵画のように変化します。

広報
画像

4. 《Shadow + 》

徳井太郎 / 清水雄大

©taro TOKUI / yudai SHIMIZU



幾何学的な模様や雪が舞う幻想的な世界など、
幾つものバリエーションで自分の影がアートとなり
楽しむことができます。

広報
画像

5. 《こびとの館》

岡田憲一 + 冷水久仁江 (LENS)

©kenichi OKADA + kunie HIYAMIZU (LENS)



椅子に座ると顔が撮影され、こびとに変身。
変身した身体はこびとの館に転送され、空を飛んだり、
水中を泳いだり、コミカルに踊ったり…。

広報
画像

6. 《toatope》

本多大和 / 下田芳彦

©yamato HONDA / yoshihiko SHIMODA



影絵遊びをモチーフにした作品。
人によって大きさや形が違う手から生まれた「影」が、
命を吹き込まれたかのように動き回ります。

7. 《メイト》

Ponboks (本多大和)

©Ponboks (yamato HONDA)



好きな色の円に立つと、同じ色のとんがり頭のメイト
(仲間) たちが、参加者のマネをしながら動きます。
人と人の繋がりをモチーフにした作品。

8. 《レイヨ=グラフィー》

森脇裕之

©hiroyuki MORIWAKI



参加者の影にあわせて、
影絵のように赤い光が点灯していきます。

その他 6点 (合計 14点) のアートワークが出品予定!

※作品は仕様を変更する場合がございます

●広報用写真について

本プレスリリース中に掲載している画像データ（**広報画像と記載されているもの**）をご用意しております。画像データをご希望の方は、同封の**作品画像使用申込書（プレゼント用無料観覧券申込付）**に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

当館ホームページ（<http://www.sagawa-artmuseum.or.jp/press/>）から画像申請も受け付けております。その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会の広報以外でのご使用はお断りしております。トリミングなどの画像の加工はご遠慮ください。また、申込書に記載しておりますキャプションの表記もお願い致します。

●プレゼント用無料観覧券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効の**無料観覧券を10枚**までご提供させていただきます。（**当イベントは事前予約制のため無料観覧券のご利用にはWEB予約が必要です**）

ご希望の方は同封の**作品画像使用申込書（プレゼント用無料観覧券申込付）**に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

◆交通のご案内

お車ご利用の場合

駐車場有70台、美術館入館者は無料

- 名神高速瀬田西 IC から湖周道路経由（約30分）
- 名神高速栗東 IC から守山栗東線経由（約30分）
- 名神京都東 IC から湖西道路（真野 IC）・琵琶湖大橋経由（約30分）

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線守山駅から路線バス 「佐川美術館」下車（約35分）
- JR 湖西線堅田駅から路線バス 「佐川美術館」下車（約15分）

◆連絡先◆

公益財団法人 SGH 文化スポーツ振興財団

佐川美術館

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891

TEL: 077-585-7800 / FAX: 077-585-7810

企画担当学芸員: 相田 莉央 (あいだ りお)

r_aida@sagawa-artmuseum.or.jp

作品画像使用申込書 (プレゼント用無料観覧券申込付)



佐川美術館 宛 FAX / 077-585-7810

申込日 年 月 日

<p>作品画像の露出・掲載等ご使用にあたっての注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請された方法、目的以外には使用しないでください。 ● 掲載誌・紙は資料として1部以上お送りくださいますよう、お願い致します。 ● その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください。
<p>使用作品 ※ご希望の作品にチェックを入れてください</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. 《色のある夢》 藤本直明 ©naoaki FUJIMOTO</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 《つくもがみ》 坪倉輝明 ©teruaki TSUBOKURA</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 《Shadow+》 徳井太郎 / 清水雄大 ©taro TOKUI / yudai SHIMIZU</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 《こびとの館》 岡田憲一 + 冷水久仁江 (LENS) ©kenichi OKADA + kunie HIYAMIZU (LENS)</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 《toatope》 本多大和 / 下田芳彦 ©yamato HONDA / yoshihiko SHIMODA</p> <p>※作品画像使用の際は、上記キャプションの表記をお願いします。 校正原稿を企画担当者まで必ずお送りください。確認に期日を要するため、お早めをお願い致します。</p> <p style="text-align: right;">計 点</p>
<p>媒体名</p>	
<p>貴社名</p>	
<p>ご芳名 (ご所属)</p>	<p>()</p>
<p>ご連絡先</p>	<p>ご住所:(〒 -)</p> <p>メールアドレス</p> <p>TEL: FAX:</p>
<p>発行 (掲出) 予定日</p>	<p>年 月 日 号</p>
<p>使用形態 (○印)</p>	<p>Web サイト / 印刷物 (カラー / モノクロ)</p>
<p>無料観覧券希望枚数</p>	<p>読者プレゼント用として、無料観覧券 _____ 枚</p> <p>※ 枚数は10枚以内でお願い致します。ご了承ください。</p> <p>※ 無料観覧券のご利用には WEB 予約 が必要です。</p>